

薬剤師がご自宅に訪問できる ことをご存知ですか？

薬剤師の訪問対応により
改善した事例が
たくさんあります！



訪問看護師と連携し、 服薬状況が改善

男性86歳
(要介護1)

次の診察日まで薬が足りなくなることがあったため、間違った飲み方をされている可能性を推察。

薬剤師 の対応

- ・訪問看護師と連携し、お互いの訪問時にお薬カレンダーに薬をセット。
- ・定時服用の薬だけで症状が安定するように検討。

介護者の負担を軽減するとともに残薬を整理。 さらに医師との連携により緊急対応。

男性82歳
(要介護2)

ご本人は失明、在宅酸素療法を行っているが時々呼吸苦があり、また、夜間頻尿で本人も家族も眠れない。

のめますか？



夫婦二人暮らしで、奥様の介護負担が大きい(ご本人を残して奥様が外出することが困難。奥様以外に薬を受け取りにいける介護者家族がいない)。さらに、大量の残薬も確認。

薬剤師 の対応

- ・残薬を整理し、期限切れや中止薬を処分するとともに、使える薬は無駄にならないよう再利用した。
- ・一包化して、分かりやすく、薬ケースにセット。
- ・訪問時に、病状が悪化していると判断し、その場から医師に電話して状態の報告を行った(すぐに医師の往診が行われた)。

通院から在宅訪問へ切り替え。 安心して診療を受けられるように。

女性84歳
(要支援1)

いえにかえる～！



夫婦二人暮らしで、夫婦ともに認知症。通院時、医療機関・薬局で長時間の待ち時間があるが、ご主人が待ってられない(怒り出してしまふ)。

薬剤師 の対応

- ・薬剤師が患者宅に訪問できることを伝え、訪問することになった。
- ・待ち時間のない自宅では、本人も余裕ができて、今まで言えなかったことや聞けなかったことを話すようになった。
- ・患者とのコミュニケーションが良好になったことで、患者の状態に合わせた薬物療法の提供に繋がった。

患者に合わせた服用方法や 剤型を提案

男性66歳
(要介護2)



難病の影響で、手の振るえが強く、内服薬の開封や服薬に苦労していた。(一人暮らし、車椅子移動)

薬剤師 の対応

- ・薬を一包化し、服用時点ごとにセット。
- ・開封を支援するオープナーを設置。
- ・手が振るえるため散剤が飲みにくいことがわかり、医師に錠剤への変更を提案。

施設職員と連携し、 安心できる環境を構築

男性87歳
(要介護2)

施設に入所されている方。
施設には薬に詳しい職員がいない。

薬剤師 の対応

- ・薬剤師が施設に訪問できることを伝え、訪問することになった。
- ・薬の管理方法を提案することで、間違った飲み方が改善。
- ・施設職員が困った時に気軽に連絡できる関係を構築し、職員が安心して薬に関われるようになった。



薬の必要性を説明し、納得して 服薬できるようになった

女性81歳
(要支援1)



薬に詳しく、(薬の)添加物にも敏感な方。アレルギーが多く、飲めない薬がある。

残薬が多く、自己判断で調節している可能性があった。

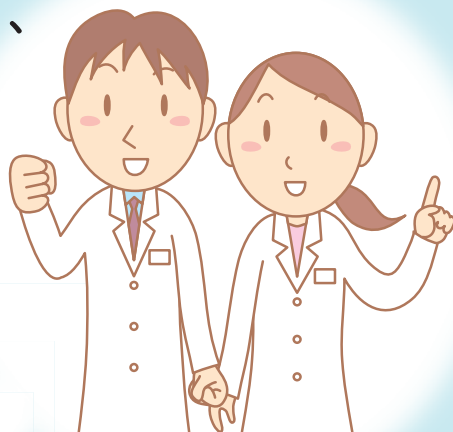
薬剤師 の対応

- ・訪問看護師と連携し、写真付きの説明書を用いて説明を行い、わかりやすく薬ケースで管理することで納得してもらえた。

「訪問薬剤管理指導」は、医療保険や介護保険による一部負担金が発生します(1割～3割負担)。詳しくは、「かかりつけの薬局(あなたの頭に浮かんだ薬局)」にお問い合わせください。

～ 薬剤師による「訪問薬剤管理指導」のご案内 ～

通院困難等の理由により、
ご自宅等で療養を行っている方が増えてきており、
「薬の管理ができない」
「薬が飲めないことがある」など、
薬に関する相談が多くなってきています。
「訪問薬剤管理指導」は、
その様な状況に対応するため、
薬剤師が直接療養の場を訪問し、
薬の管理や説明を行うことです。
個々の問題点等にきめ細やかな対応を行いますので、是非ご活用ください。



在宅訪問可能な 薬局はコチラ!

- 1 岩手県薬剤師会 検索
- 2 トップページ / 「在宅訪問可能薬局」をクリック



- 3 当会「在宅訪問可能会員薬局リスト」からご確認ください



「訪問薬剤管理指導」は、医療保険や介護保険による一部負担金が発生します(1割～3割負担)。詳しくは、「かかりつけの薬局(あなたの頭に浮かんだ薬局)」にお問い合わせください。